

2010 年度 立命館学校教育研究会

「第 7 回 若手教員懇談会」が開催されました



自己紹介の様子

分散会（小学校）の様子

分散会（中・高等学校）の様子

2010 年 8 月 7 日（土）、「第 7 回 若手教員懇談会」が開催されました。会場の朱雀キャンパス多目的室には、若手を中心とした校友教員、本学教職員、学校教育関係者らが集い、30 名以上の参加者で盛会となりました。

開式の後、参加者全員が自己紹介を行い、近況を報告しました。その後、運営委員より「ゆれつつ働き続けるために一学校の人間関係とメンタルヘルス」をテーマに問題提起があり、小学校、中学校・高等学校の二つのグループに分かれて、分散会協議を行いました。各グループでは代表者から実例報告を行い、参加者間で各学校の現状や取り組みを紹介するなど、懇談を深めました。テーマはメンタルヘルスにとどまることなく、学級で起こる多様な問題や対策等にも話題が広がり、「全国の学校で活躍される先生方の話が聞けてよい刺激になった」、「近い年齢同士で話すことができ、気分転換になった」、「みんな同じような悩みを抱えているのだと知り、気持ちが楽になった」などの感想が聞かれました。また、それぞれに学生時代に抱いていた教師への初心に戻る場となりました。

分散会の後は、全体での懇談が図られ、分散会の協議内容をさらに深める機会となりました。また、立命館大学文学部教授の春日井敏之先生（本会運営委員）からも、学校現場に噴出している子どもや保護者の諸問題に対して教師はどう向かい合うべきか、先生の実体験や研究実績を織り交ぜながら、数々のヒントを示唆していただきました。

懇談会後は会場を移し、懇親会が開かれ、参加者らの交流が積極的に図られました。

